

番号	カテゴリ	内容
1	シート全体	良い取り組みであり、課題に対する技術が把握していけるという点で良いものとする
2	自治体タブ	「自治体」タブは検討の入り口としてとても使いやすいと思う。自分の自治体名を検索するだけで、基礎的な分析と課題の有無が分かるのは便利だと思う。
3	自治体タブ	自治体情報の比較はこれまでであるものと比べ見やすく良いと思う。
4	自治体タブ	任意に比較対象の団体を抽出できる機能を追加すると良いのでは。
5	自治体タブ	自団体と類似の課題を持っている特定の他団体との比較が一覧できると良いのではないかと。
6	自治体タブ	・類似団体の集計で、県内の“くくり”があると説得力が増すのではないかと。（隣の町はこうしてますよというのは地方では一つの目安となる）
7	自治体タブ	・自治体内での資料等で使用する場合には、類似団体平均の“類似団体”とは？の質問があるのではないかと。（国交省HP「地域差見える化データ」か？）
8	自治体タブ	・同様に同一画面で2～3団体が比較できれば使い勝手がよいのではないかと。
9	自治体タブ	・平均値との比較で「課題あり」「良好」に違和感を感じた。 （今後の課題に明記されていた内容と同じかもしれません）
10	自治体タブ	・「課題判定」を「課題あり」「課題なし」ではなく、より客観的なものとする。
11	自治体タブ	ある自治体を検索したところ、課題判定の過程が分からない部分があった。管路の供用年数の自治体の数値が45年、類似団体平均が51年、②の条件50年ですが、課題ありと判定されていた。判定条件①（45年<51年）・②（45年<50年）で条件に合致しないように見えるので、もう少し詳しく判定の過程が分かるとよい。
12	自治体タブ	判定結果をクリックすると詳細が見れるようにするのがベターだと思う。
13	自治体タブ	現在結果のみ表示される形となっている。どの自治体と比較しているのか、及び比較に用いた基礎データが分かるようになると良いと思う。
14	自治体タブ	・数値等の出典をより明確化する。
15	自治体タブ	入り口で課題ありと判定された場合、次にすることは課題の原因分析になると思う。下水道事業の場合、人口密度や地理的要因など外的要因によって自治体ごとに差異が生じることが多く（そのためベンチマーク分析が難しい…）、細かな分析をしたい場合に、その基礎データをCSVなどでダウンロードできるようにすると、ツールがさらに使いやすくなると思った。
16	自治体タブ	下水道協会で運営している「下水道全国データベース」において取り組んでいる事業の見える化と重複する部分があり、自治体目線で行くと一つのサイトから検索できるようにする（少なくともリンクを張るなどの対応をしていく）必要がある
17	詳細課題タブ	「詳細課題」タブは自分の自治体が抱える課題からアプローチした検索ができるので、技術的な解決策を見つけやすくなった。
18	詳細課題タブ	・技術情報が体系化されて閲覧できることは見やすく活用されると思う。
19	詳細課題タブ	・コンサルタント等には活用されるのではないかと。
20	詳細課題タブ	課題が何か分からない職員にとっては、そもそも何を検索してよいか分からない（何が分からないのか分からない）ため、選択タブの「事業運営上の課題」と「技術的課題」において、タブ選択させるのは難しいかもしれない。（本システムを操作してみるのも一つの勉強にはなると思うが。）
21	自治体タブ	・「課題判定」から技術検索に進む流れを自動化する。
22	詳細課題タブ	技術情報を検索して表示される事例に対して、先行事例の団体の問合せ先などがあると良い。（自団体で導入検討する際に詳細ヒアリングできるように）
23	詳細課題タブ	・技術と制度の関連づけを行う。（例えば、当該技術を導入するための事業制度が分かるようにする等。）
24	詳細課題タブ	事例によっては、相当のボリュームの資料があるので、概要版があると良い。（特に知識や経験のない職員にとっては理解するのが困難と思われる）
25	詳細課題タブ	・指摘にもあるように小規模自治体では“ツールを使う余裕がない”というのも事実だと思う。（技術情報を読み解く力も無いところが多いと思う。）
26	フリーワードタブ	中規模、小規模にかかわらず活用方法等の事例を紹介していけば活用できるものであると思う。 ※例：ストマネのガイドラインがないのかな。。。 不明水の課題解決方法を調べたい。。。等
27	ホットワードタブ	中小規模団体に関わらず皆が今までのような話題を検索しているのかを知るのにとっても良い機能だと感じた。